

# 農業学園だより

令和7年2月

Vol.4

県北農林事務所

経営・普及部門

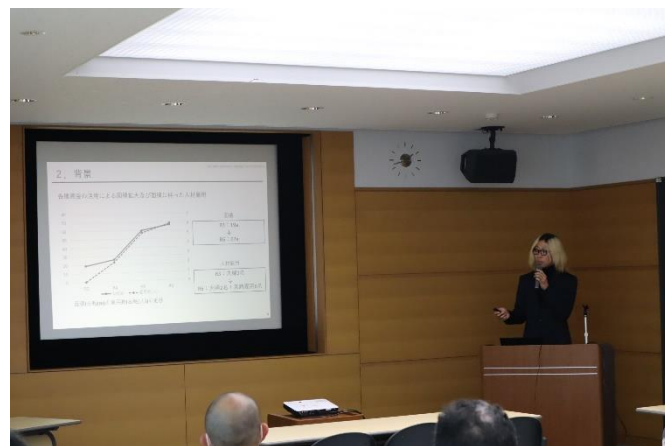
(常陸太田地域農業改良普及センター)



常陸太田普及センターでは、1月21日（火）に常陸大宮普及センターと合同で、「県北地域農業青年プロジェクト実績発表会（農業学園第6回講座）」を開催しました。常陸太田・常陸大宮管内の農業学園受講生等8名が参加しました。

農業青年プロジェクト発表会は、青年農業者等が農業技術の改良や農業経営の改善に工夫・努力を行っている活動成果等を発表し合い、互いに研鑽することで、今後の農業経営や農家生活の改善、地域農業の発展に資することを目的として毎年開催しています。

今回は常陸大宮地域からプロジェクト発表1課題、常陸太田地域から意見発表1課題の発表がありました（裏面参照）。



また発表後には、常陸太田市でシクラメンなどの花きを生産する鴨志田氏から、自身の経営改善などについての講話をいただきました。受講生からは、「発表者の考え方が素晴らしいと思った」、「順調にステップアップしていた点を参考にしたいと思った」などの声があり、身近な青年農業者の活躍が刺激になった様子でした。



**【講座の詳細、今後の講座の予定は裏面をご覧ください！】**

農業学園では、今後も普及指導員による定期個別巡回を行っていきます。  
その他普段の農業についての疑問や相談など、お気軽にご連絡ください！  
常陸太田地域農業改良普及センター（担当：大森、北原）

TEL：0294-80-3341  
FAX：0294-80-3348

# 県北地域農業青年プロジェクト実績発表会

## (農業学園第6回講座)のまとめ

### ◆常陸大宮地域：プロジェクト発表

「独立就農からはじまる経営戦略

～商社マンからやぎとひつじ飼いのいちご屋さんへ～

常陸大宮市 hiko farm 彦田真吾氏

- 常陸大宮市でイチゴ経営をしている彦田氏は、就農後4年間、段階的に規模拡大や人材雇用を進め、販売金額を右肩上がりに伸ばすことができた。
- 中でも4年目にあたる今年度は、オリジナルキャラクターと物語を用いた農園のブランディングに力を入れ、独自性を追求している。



### ◆常陸太田地域：意見発表

「時代の変化を捉えたチャレンジ～エディブルフラワーの可能性～」

高萩市 柴田農園 柴田祥平氏



- 柴田氏は実家の農園にて就農した後、新しく取り組む品目として、県内でも生産者の少なかったエディブルフラワーに着目した。
- 販路の開拓などに力を入れてきた結果、農園の売上げが上がり、従業員も増え、地域活動の機会も増えるなど、数々の良い変化をもたらすことができた。

### ◆講話 「理想の経営を目指して」

常陸太田市 鴨志田園芸 鴨志田秀喜氏

- 鴨志田氏は実家の農園にて就農して8年目を迎える。主な栽培品目はシクラメンやポットカーネーションである。
- 県の「リーダー農業経営者育成講座」の受講をきっかけに、経営改善のための取り組みを行ってきており、今後とも栽培技術の向上に加え、SNSでの発信などにも力をいれていきたい。



### 【今後の農業学園の予定】

今年度の農業学園は第6回をもって終了いたしました。普及センターでは来年度も引き続き、農業を始めて間もない方等を対象に農業学園を開催し、受講者も随時募集していきます。来年度の計画が決まり次第、通知文やHP等でお伝えしていきます。引き続きよろしくお願いいたします。

ご不明点、ご要望などありましたらお気軽にお問い合わせください。お待ちしております。